

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院 中央放射線部 放射線治療に、 子宮頸がんで通院歴のある患者さまへ

和歌山県立医科大学附属病院中央放射線部では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さまに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

傍大動脈リンパ節を治療部位に含む子宮頸がん放射線治療における残余セットアップ誤差の解析
(後ろ向き観察研究)

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学附属病院 副主査 若林 和樹

3. 研究の目的

傍大動脈リンパ節を治療部位に含む子宮頸がんの放射線治療の位置照合用 CT (Computed tomography) 画像から体位調整 (セットアップ) における残余誤差の解析を行います。この解析から腰椎から骨盤骨にかけてどの方向に、どの程度のセットアップ誤差が発生しているのかを検討します。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さま

子宮頸がんの患者さまで、2013年1月1日から2022年12月1日までの期間中に、子宮頸がんの放射線治療を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、放射線治療実施直前に撮像する位置照合用の CT 画像と放射線治療計画時の CT 画像および放射線治療を受けられた時の年齢、性別、身長、体重に関する情報です。

(3) 方法

放射線治療を実施する際の体位に関する情報を位置照合用 CT 画像から取得し、セットアップ時の残余誤差 (放射線治療計画時と位置照合時のズレ) を解析し、骨盤骨と腰椎のセットアップ誤差の関係について検討を行います。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さまを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さまの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さまには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

本研究における開示すべき利益相反はありません。

8. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学附属病院 中央放射線 若林 和樹

TEL : 073-447-2300 FAX : 073-441-0706

E-mail : vayashi@wakayama-med.ac.jp